

グローバル・プロファイリング報告書：太田市

西舘 崇*

概要

太田市は群馬県南東部に位置する。面積は175.54km²であり、令和2年の人口は223,150人である。太田市の産業の柱は製造業であるが、その内訳においては自動車や自動車附属品などを含む輸送用機械の製造が占める割合が大きい。同市の2015年の総生産額は41,455億円であるが、輸送用機械の生産額は25,892億円となっている。太田市はまた全国有数の外国人住民数を誇る。2020年12月のデータでは、その数は12,228人であり、太田市の全人口に占める割合は5.5%である。外国人住民の受入体制については、1992年から行政情報の多言語化に取り組む他、外国人住民の暮らしや教育、医療、防災に関わる分野、さらには地域における多文化共生に関する啓蒙分野にて、様々な活動を行なっている。

太田市を特徴付けるのは製造業と外国人住民数だけではない。太田市では今、市民が具体的に地域づくりに関わる市政が展開されている。また若者の育成を市全体で実現しようとする気運が大きな高まりを見せている。2017年に開

館した「太田市美術館・図書館」は前者の代表例であり、開館初年度から当初目標の10万人を大きく超える30万人の来館者数を実現した。後者については、例えば太田市に所在する各高校が実施する海外研修事業の他、市の姉妹都市交流事業、ジュニアスポーツの強化支援事業などが挙げられる。2020年には、スポーツ振興による地域づくりを念頭にした地域再生計画「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」をスタートさせており、その拠点となるOTA ARENAが現在、建設中である。

1. 基本情報

群馬県太田市は群馬県南東部に位置し、北は桐生市・みどり市に隣接し、南は埼玉県深谷市・熊谷市、東は邑楽町・大泉町・栃木県足利市、西は伊勢崎市に面している。南部には利根川、北部には渡良瀬川が流れている。市中央部から北側にある金山（標高239m）と、そのさらに北側にある八王子丘陵以外は、概ね平坦な地形となっている¹。面積は175.54km²であり²、令和2年の人口は223,150人である³。

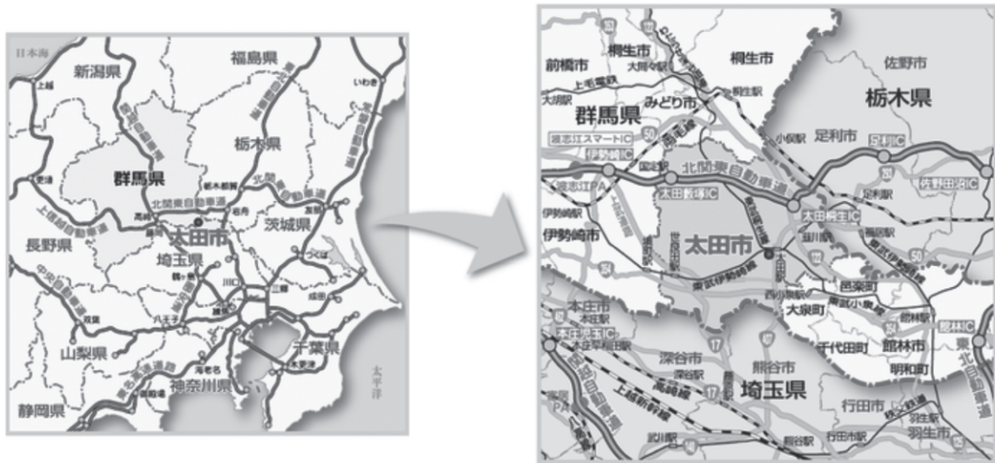
* 共愛学園前橋国際大学准教授

1 太田市（2017）『第2次 太田市総合計画（平成29年度～平成36年度）』10頁を参照。

2 国土交通省国土地理院『令和3年 全国都道府県市区町村別面積調（4月1日時点）』国土交通省国土地理院、2021年、23頁。

3 令和2年国勢調査人口速報集計より。

図1 太田市の位置



出典：太田市 HP より（<https://www.city.ota.gunma.jp/009access/>）。

近年における人口及び世帯数の推移については表1の通りである。2015年(平成27年)以降、人口総数は微増していたが、2019年(平成31年)はわずかに減少している。世帯数は年々

増え続けており、2015年と比べると2019年は5,000世帯以上の増加で97,194世帯となっている。

表1 太田市の人口及び世帯数

年	世帯数	各年末現在						
		人 口			女100人に 対する男	1世帯あた り人口	1km ² あたり	
		総数	男	女			人口	世帯
27	91,788	222,897	113,142	109,755	103.1	2.43	1,269.8	522.9
28	93,292	223,665	113,662	110,003	103.3	2.40	1,274.2	531.5
29	95,007	224,574	114,363	110,211	103.8	2.36	1,279.3	541.2
30	95,983	224,635	114,409	110,226	103.8	2.34	1,279.7	546.8
31	97,194	224,415	114,514	109,901	104.2	2.31	1,278.4	553.7

出典：『統計おた』令和2年版、7頁。(市民課)

太田市では、2013年を人口のピークと予想し、その数を216,300人としていたが⁴、2018年は224,635人となり過去最多を更新

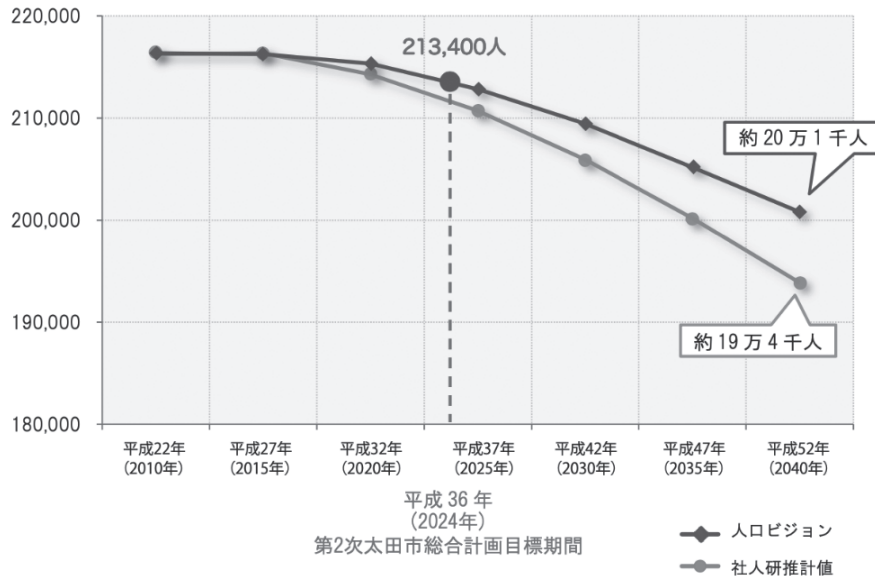
している。しかし全国的に進行する少子高齢化を背景とし、太田市でも独自の人口ビジョンを策定している。図2は同市における人口の

4 「新生太田総合計画」による。同計画は平成18年に策定された総合計画であり、対象とする期間を平成19年度から平成28年度までの10年間とした。太田市役所 HP「新生太田総合計画」(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-001kikaku-kikaku/sougoukeikaku.html>) (2021年11月7日閲覧)を参照。

将来展望を示したものである。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）は、同市の人口が2040年に19.4万人になると予測するが、太

田市では合計特殊出生率を1.80に設定することで、2040年においても人口20万人を維持することを目標としている⁵。

図2 太田市における人口の将来展望



出典：『第2次 太田市総合計画（平成29年度～平成36年度）』37頁。

2. 経済・ビジネス

(1) 地域経済の概況

太田市の産業の大きな柱は第2次産業である。RESAS生産分析によれば、同市の2015年の生産額（総額）は41,455億円で、その内訳は第1次産業232億円（0.6%）、第2次産業33,913億円（81.8%）、第3次産業7,310億円（17.6%）となっている。第2次産業では、輸送用機械が全体の7割以上を占めており、

25,892億円となっている。輸送用機械には「自動車・同附属品製造業」「鉄道車両・同部品製造業」「船舶製造・修理業」「舶用機関製造業」「産業用運搬車両・同部分品・附属品製造業」などが含まれている⁶。第3次産業では、住宅賃貸業776億円、専門・科学技術、業務支援サービス業768億円、小売業754億円、保健衛生・社会事業738億円などが顕著である⁷。

5 太田市（2017）『第2次 太田市総合計画（平成29年度～平成36年度）』36-37頁を参照。

6 詳細については『統計おた』令和2年度版「61. 産業小分類別 製造業の状況」を参照。

7 RESAS地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」（群馬県太田市）を参照。

図3 太田市の2015年の生産額内訳



出典：RESAS 地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」（群馬県太田市）。

(2) 農業

太田市の2015年の耕地面積は2,730haで、農業就業人口2,906人である⁸。販売農家数は1,774戸である。このうち、主業農家は453戸、準主業農家は126戸、副業的農家は1,200戸となっている⁹。2019年の品目別農業産出額は、総額190億円であり、野菜101.6億円、肉用牛31.4億円、生乳15.5億円、米15.2億円、豚8.9億円、鶏卵8.3億円などが多い¹⁰。

農業に関するその他のデータも確認しておこう。まず、農産物販売金額帯別の経営体割合（2015年）では、100万円未満が50.55%と半数を占めており、100万円以上1,000万円未満が36.76%、1,000万円以上5,000万円未満11.19%、5,000万円以上1億円未満0.76%、1億円以上0.72%となっている¹¹。2015年の経営耕地面積は、総面積が3,996haであり、経営体当たり1.7haとなっている。これは全

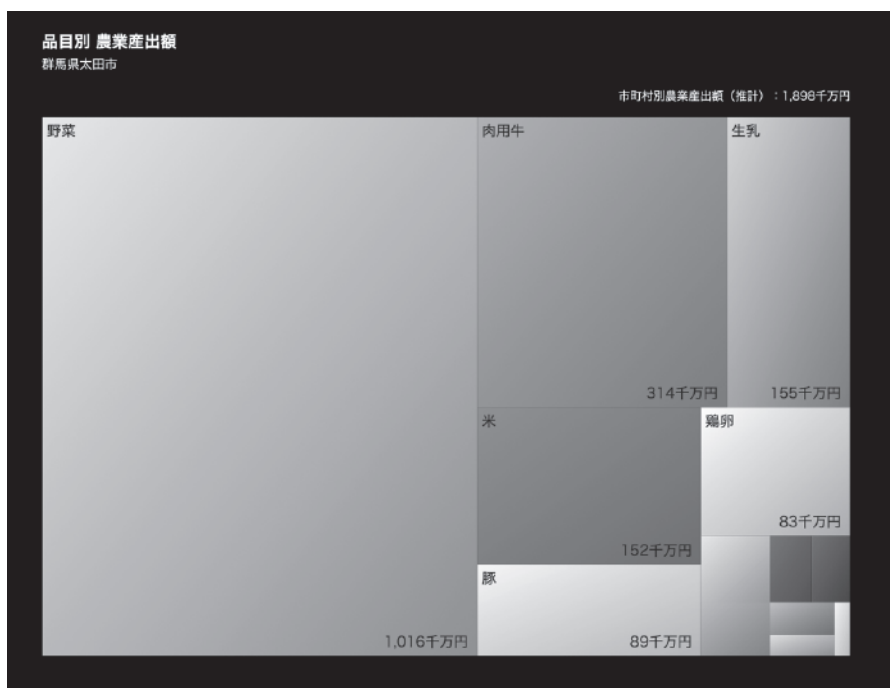
8 60日以上、農業に従事した世帯員、役員・構成員（経営主を含む）数。農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計で見る農林水産業 基本データ 群馬県太田市」を参照。

9 同上、農林水産省を参照。

10 RESAS 産業構造マップ「品目別 農業産出額」（群馬県太田市）を参照。

11 RESAS 産業構造マップ「農業 農業者分析 農産物販売金額帯別の経営体の割合」（群馬県太田市）を参照。

図 4 太田市の品目別農業産出額（2019 年）



出典：RESAS産業構造マップ「品目別 農業産出額」（群馬県太田市）。

国平均 2.54ha を下回るが、群馬県平均 1.75ha とほぼ同じ規模である。より詳細に見ると、0.3ha 未満が 1.10%、0.3ha 以上 1.0ha 未満が 48.90%、1ha 以上 10ha 未満が 48.35%、10ha 以上 30ha 未満が 1.56%、30ha 以上が 0.08% となっている¹²。

(3) 産業別特化係数から見た太田市

太田市の経済・ビジネス状況を、RESAS 産業構造マップによる「稼ぐ力分析」からも捉えてみよう。「稼ぐ力分析」は産業特化係数に着目している。これは、域内のある産業の比率を全国の同産業と比較した数値であり、1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化して

いる（全国平均より優位である）ことを示す。図 5 は、付加価値額と労働生産性に関する係数のクロス図である。

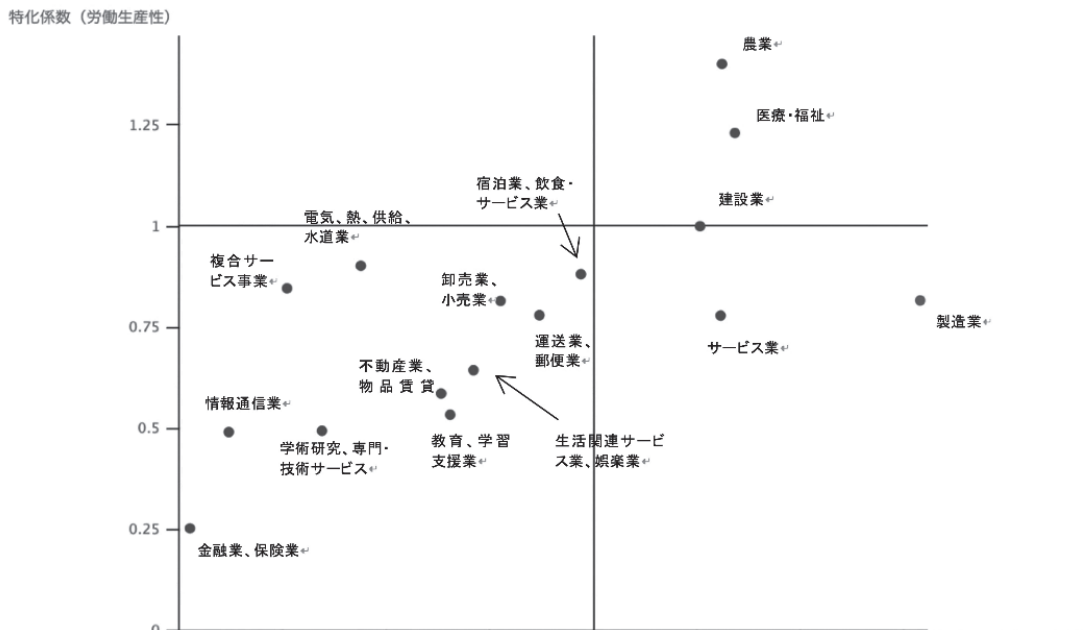
図を見ると、二つの特化係数（付加価値額と労働生産性）で 1.0 を超えている産業が全体で 3 つあることがわかる。それらは農業（付加価値額 1.31、労働生産性 1.40）、医療・福祉（付加価値額 1.34、労働生産性 1.23）、建設業（付加価値額 1.26、労働生産性 1.00）である。付加価値額のみ 1.0 を超えているのは 2 つで、製造業（付加価値額 1.79、労働生産性 0.81）とサービス業（付加価値額 1.31、労働生産性 0.78）である。

12 RESAS 産業構造マップ「農業 農地分析」（群馬県太田市）を参照。

図5 太田市における産業別特化係数のクロス図（2016年）

特化係数（付加価値額） x 特化係数（労働生産性） 2016年

指定地域：群馬県太田市



出典：RESAS産業構造マップ「全産業 稼ぐ力分析」（群馬県太田市）より筆者作成。

(4) 製造業

太田市の経済を牽引する製造業に絞り、その分野での特化係数（付加価値額）を詳しく見ていくと、最も高いのはプラスチック製品製造業で5.06、次いで飲料・たばこ・飼料製造業4.45、輸送用機械器具製造業3.42、金属品製造業3.24、生産用機械器具製造業2.65と続く¹³。

製造品の出荷額等の推移は図6の通りである¹⁴。2008年から2009年にかけての出荷額

の減少はリーマンショックの影響を受けたものと考えられるが、2011年以降は右肩上がりの増加傾向にある。2015年には2兆8千億円を突破し、それ以降は緩やかな増加傾向を保っている。2019年では、2兆9千億円を超えている。

(5) 小売・卸売業

太田市の2016年の小売・卸売業の年間商品販売額は8,657億円であった¹⁵。

13 RESAS産業構造マップ「全産業 稼ぐ力分析」（群馬県太田市）を参照。

14 RESAS産業構造マップ「製造業 製造品出荷額等」（群馬県太田市）を参照。

15 RESAS産業構造マップ「小売・卸売業 年間商品販売額」（群馬県太田市）を参照。

図 6 太田市における製造品出荷額等の推移



出典：RESAS産業構造マップ「製造業 製造品出荷額等」（群馬県太田市）。

(6) 企業数・事業所数・従業者数・

付加価値額と賃金水準¹⁶（2016年）

太田市の2016年の企業数は7,293社であり、事業所数は10,010所、従業者数は119,821人である。その付加価値額（企業単位）は3,531億円、一人当たりの労働生産性は437.1万円となっている。一人当たりの労働生産性の全国平均は544.9万円であるから、全国平均より100万円ほど低い、群馬県平均435.8万円からすると少し高い。

表2はこれらの指標を2009年、2012年、2014年、2016年で比較したものである。企業数及び事業所数はともに、2009年以降から現在まで、それぞれ1,000社、1,000所ほど減少していることがわかる。その一方で従業員数は増えていることが確認できる。付加価値額と労働生産性については2012年と2016年で参照可能だが、2016年はどちらも減少している。なお、太田市の賃金水準は2016年で314.3万円であった¹⁷。

16 RESAS産業構造マップ「全産業」（群馬県太田市）を参照。

17 総務省統計局「平成28年経済センサス活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」（A～R全産業（S公務を除く））で除して算出した。

表 2 企業数・事業所数・従業者数・付加価値額の経年変化

項目	2009	2012	2014	2016
企業数	8,496	7,925	7,700	7,293
事業所数	11,111	10,287	10,252	10,010
従業者数	116,011	114,379	117,627	119,821
付加価値額（億円）	N/A	3,652	N/A	3,531
労働生産性（万円／人）	N/A	506.6	N/A	437.1

出典：RESAS産業構造マップ「全産業」（群馬県太田市）より筆者作成。

(7) 高等教育修了者の割合（2015年）

太田市の高等教育修了者の割合は 26.5% である¹⁸。

(8) 女性・高齢者の就業率（2015年）

太田市の女性就業者の割合は 41.2% であり¹⁹、高齢者の就業率は 22.9%（65 歳以上総人口 53,309 人、うち就業者 12,194 人）である²⁰。女性就業者の割合は全国平均（2017 年に 43.7%）よりも低い²¹。高齢者についても全国平均（2015 年に 23.3%）より少し低い²²。

(9) 在留外国人データ（2020年）

太田市の在留外国人数は 12,228 人（2020 年 12 月末）である。全人口に占める割合は 5.5% であり、これは全国平均の 2.3% を大きく上回っている。国別に見ると、ブラジルが最大で 3,099 人、次いでベトナム 2,017 人、フィリピン 1,583 人、中国・台湾 1,246 人、ペルー 713 人と続く。在留資格は、永住者が 4,113 人、定住者が 2,091 人などであり、身分に基づく在留資格者がおよそ半分を占めている。その他

18 総務省統計局「平成 22 年国勢調査結果」の「産業等基本集計（労働力状態、就業者の産業など）」に掲載されている高等教育修了者（「卒業者 短大・高専」「卒業者 大学・大学院」）を総務省統計局「平成 27 年国勢調査結果」の 18 歳以上人口で除して算出した。

19 総務省統計局「平成 27 年国勢調査結果」の「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載されている女性就業者数を、同調査に掲載されている総就業者数で除して算出した。

20 太田市関連資料の他、総務省統計局「平成 27 年度国勢調査結果」における「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」中の「労働力状態（8 区分）、年齢（5 歳階級）、男女別 15 歳以上人口及び労働力率—都道府県、市区町村」を参照。

21 厚生労働省「働く女性の状況 第 1 章 平成 29 年の働く女性の状況」を参照。

22 総務省統計局「統計トピックス No.126 統計からみた我が国の高齢者」2. 高齢者の就業（2015 年の高齢就業者数は 732 万人）と平成 27 年国勢調査結果（2015 年の高齢者人口 3145 万 6491 人）に基づいて算定した。

では、技能実習が1,871人、特定活動²³が1,083人、技術・人文知識・国際業務が840人などとなっている²⁴。

(10) 地方自治体の財政状況に関するデータ (2019年度)

太田市の財政力指数は201.96（全国平均を100とする）であり、全国平均を2倍ほど上回っていることがわかる²⁵。また実質公債費比率は92.64（全国平均を100とする）である²⁶。一人当たり地方税は17.7万円²⁷、人口1千人当たり職員数は6.03人である²⁸。

3. 研究・開発

(1) 留学生受け入れ数

太田市には群馬大学理工学部・大学院理工学府（太田キャンパス）と関東学園大学が所在する。市独自の統計データによると、群馬大学理工学部には2018年で3名の留学生が所属し

ている。2018年のデータでは、同大学院は0名であった²⁹。関東学園大学では学部生、大学院生とも0名であった。なお、法務省の在留外国人統計で確認すると、太田市には2018年、65名もの学生が「留学」で在留している。彼らの大半は太田市外の高等教育機関に在籍・通学しているものと推定される。

(2) SDGs、地方創生・地域開発に取り組む大学

先述の通り太田市には、群馬大学の理工学部・大学院理工学府（太田キャンパス）と関東学園大学がある。群馬大学では17の目標全てについての研究・実践プロジェクトが全学規模で実施されていることがうかがえる³⁰。関東学園大学では学生主体によるSDGs関連プロジェクトが実施されている³¹。

(3) グローバルニッチトップ企業 (2014年・2020年)

太田市には該当する企業はなかった。

23 在留資格「特定活動」は「法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動」を指す。出入国管理及び難民認定法別表第一に記載された法定特定活動（特定研究等活動、特定情報処理活動、特定研究等家族滞在活動、特定情報処理家族滞在活動）の他、法務大臣の告示により指定された告示特定活動（2020年3月時点で49種類）がある。法務省出入国在留管理庁「出入国管理法令等」を参照。

24 太田市関連資料を参照。

25 RESAS 地方財政マップ「自治体財政状況の比較」（群馬県太田市）を参照。

26 同上。

27 RESAS 地方財政マップ「一人当たり地方税」（群馬県太田市）を参照。

28 RESAS 地方財政マップ「自治体財政状況の比較」（群馬県太田市）を参照。なお、人口あたり職員数とは、都道府県の場合は人口10万人、市町村（特別区を含む）の場合は人口千人あたりの職員数である。

29 『統計おおた（令和元年度）』『市内大学在籍者数』を参照。

30 詳細については、「持続可能な開発目標（SDGs）に関連する群馬大学の取り組み」（<https://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g61460>）（2022年1月8日閲覧）を参照。

31 詳細については、関東学院大学「ニュース & トピックス 関東学院大学SDGsプロジェクトの活動をご紹介します」（<https://www.kanto-gakuen.ac.jp/univer/news/2021/sdgs.htm>）（2022年1月8日閲覧）を参照。

(4) はばたく中小企業・小規模事業者300社

太田市では2019年に株式会社ロブストスが「需要獲得・ものづくり」部門にて、2020年には鈴木工業株式会社が「生産性向上・ものづくり」部門にて選ばれている。

株式会社ロブストスは太田市大原町に所在し、2011年に設立された。同社は、農業機械のカスタマイズや廃盤部品の修復を行う企業である。同社が開発した積雪地域における林業用重機ゴムクローラ滑り止めチェーンは、国内と国際特許を申請中であり、今後は林業用重機メーカーと協力し、北米や北欧市場への展開を計画しているようである³²。

鈴木工業株式会社は太田市西新町に所在し、1964年に設立された。同社は、主に自動車用プレス金型の設計製作を行う企業である。女性・シニア・外国人など多様な人材の活用を積極的に行なっており、太田市が主催した「おおた子育て支援就職面接会」では5名の女性を採用した。シニアについては2名を雇用し、IoT化で熟練作業者の高度な技能の標準化や水平展開にも取り組んでいる。南米出身者3名が働く他、外国人研修生も受入れている³³。

(5) 特許数

RESAS企業活動マップにおける「研究開発特許分布図」によると、太田市では特許庁「特

許情報」(2014年9月、2016年7月、2017年9月、2018年9月、2019年10月、2020年11月)において計593件の特許を取得していることがわかる。特許件数をセクション別に確認すると多い順から、「処理操作：運輸」282件、「機械工学：照明：加熱：武器：爆破」104件、「生活必需品」62件、「化学：冶金」43件、「電気」42件、「固定構造物」32件、「物理学」23件、「繊維：紙」5件となっている³⁴。

(6) 創業比率(2014～2016年)

太田市の創業比率は4.42%である。全国平均の5.04%、群馬平均の4.49%から比べると僅かに低い比率となっている³⁵。

(7) 表彰(2015～2019年)³⁶

RESAS企業活動マップにおける「企業情報 表彰・補助金採択」を確認すると、太田市では2017年度では11社、2018年度では4社、2020年度では3社が地域未来牽引企業として選出されている。地域未来牽引企業とは、経済産業省が選定する「地域経済の中心的な担い手となりうる事業者」である³⁷。業種別に見ると計14社が製造業であり、他2社がそれぞれ建設業、サービス業(他に分類されないもの)となっている。年度ごとの地域未来牽引企業は次のとおりである。

32 「はばたく中小企業・小規模事業者300社」・「はばたく商店街30選」2019年版、188頁を参照。

33 出典：「はばたく中小企業・小規模事業者300社」2020年版、53頁を参照。

34 RESAS企業活動マップ「研究開発 特許分布図」(群馬県太田市)を参照。

35 RESAS企業活動マップ「企業情報 創業比率」(群馬県太田市)を参照。

36 RESAS企業活動マップ「企業情報 表彰・補助金採択」(群馬県太田市)を参照。

37 経済産業省ホームページ「地域未来牽引企業」

(https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/chiiki_kenin_kigyous/index.html) (2021年11月10日閲覧)。

2017 年度：11 社

- ・SRD ホールディングス株式会社
(製造業)
- ・石橋建設工業株式会社 (建設業)
- ・植木プラスチック株式会社 (製造業)
- ・株式会社太田国際貨物ターミナル
(サービス業 (他に分類されないもの))
- ・株式会社古川製作所 (製造業)
- ・株式会社ロブストス (製造業) *
- ・株式会社シムックス
(サービス業 (他に分類されないもの))
- ・東亜工業株式会社 (製造業)
- ・山恵鉄工株式会社 (製造業)
- ・千代田工業株式会社 (製造業)
- ・しげる工業株式会社 (製造業)

2018 年度：4 件

- ・鈴木工業株式会社 (製造業) *
- ・株式会社ヨーユーラボ (製造業)
- ・株式会社ベンカン機工 (製造業)
- ・しげるテック株式会社 (製造業)

2020 年度：3 社

- ・石川建設株式会社 (建設業)
- ・有限会社石川鉄工所 (製造業)
- ・株式会社サイテックス (製造業)

* 印は「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選出された企業

2019 年度においてはまた、太田都市ガス株

式会社がガス保安功労者経済産業大臣表彰を受けている。

4. 文化・交流

(1) 観光地の数・評価

大手旅行ウェブサイト「トリップアドバイザー」にて太田市の「観光スポット」を検索すると 58 件がヒットする。ランキングで一位は金山城址 (旧跡・城) で口コミは 79 件、二位はぐんまこどもの国 (アミューズメントパーク・テーマパーク) で口コミは 61 件、三位は冠稲荷神社で口コミは 25 件であった。その他は太田市北部・運動公園、世良田東照宮、大光院、ジャパンスネークセンターなどが続く³⁸。



金山城址の様子 (復元整備された大手虎口)
出典：太田市 HP「金山城跡」。

(2) 文化財指定件数

太田市には様々な文化財が多数存在する³⁹。重要文化財においては国指定のものが 8 件、県指定が 30 件、市指定が 102 件ある。上述の

38 トリップアドバイザーにて「太田市」「観光スポット」などを検索した結果を参照 (2021 年 11 月 5 日検索・閲覧)。

39 太田市 HP「太田市の指定等文化財数」

(https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/shiteibunkazai_su.html)

(2021 年 9 月 22 日閲覧) や「太田市内指定文化財一覧表」

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/files/itiran.pdf>)

(2021 年 9 月 22 日閲覧) を参照。

トリップアドバイザーにおいて上位にランクインされた世良田東照宮は徳川氏発祥の地と言われている。東照宮の本殿や唐門、拝殿、また鉄燈籠、棟札は国の重要文化財である。重要無形文化財では市指定のものが1件ある。民俗文化財では、市指定重要有形民俗文化財が13件、重要無形民俗文化財では県指定が1件、市指

定が10件ある。記念物においては国指定の史跡が7件、県指定が8件、市指定が8件あり、天然記念物においては県指定が1件、市指定が6件ある。トリップアドバイザーの「観光スポット」にて一位となった金山城址は国指定の史跡である。下表は太田市における指定等文化財数（2019年10月現在）のものである。

表3 太田市における指定文化財数（2019年10月）

指定等種別		【国指定】	【県指定】	【市指定】	【合計】
有形文化財	重要文化財	8	30	102	140
無形文化財	重要無形文化財			1	1
民俗文化財	重要有形民俗文化財			13	13
	重要無形民俗文化財		1	10	11
記念物	史跡	7	8	8	23
	名勝				
	天然記念物		1	6	7
伝統的建造物群	伝統的建造物群保存地区				
計		15	40	140	195

出典：太田市HP「太田市の指定等文化財数」。

(3) 景観まちづくりへの貢献度

太田市は2007年9月1日から「景観行政団体」となった。景観行政団体とは、良好な景観の形成に関する計画（景観計画）を定めることができ、条例で必要な規制を設けることも可能な地方自治体を指す（都道府県・政令指定都

市・中核市は自動的に景観行政団体となる）⁴⁰。2010年4月には太田市景観計画が策定された。具体的な取り組みとしては、太田市の良好な景観の形成に貢献していると認められる市民や事業者、団体などを表彰する「太田市景観賞」などが行われている^{41,42}。

40 太田市HP「景観と景観行政の説明」

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0100-001tosi-plan/keikan/keikan-setumei.html>)
(2021年9月22日閲覧)を参照。

41 太田市HP「太田市景観賞」

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0100-001tosi-plan/keikan/2011-1122-0938-130.html>)
(2022年1月8日閲覧)を参照。

42 太田市による景観行政については太田市HP「景観行政の取り組み」

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0100-001tosi-plan/keikan/>)
(2022年1月8日閲覧)に詳しい。

(4) 美術館数・博物館数

太田市には合計 7 つの資料館・美術館がある。それらは、新田荘歴史資料館、縁切寺満徳寺資料館、高山彦九郎記念館、藪塚本町歴史民俗資料館、史跡金山城跡ガイダンス施設、大隅俊平美術館、中島知久平邸地域交流センターである。

(5) イベントの数・評価

太田市における文化事業やイベント開催状況を調べるため、「トリップアドバイザー」と「Miru-navi 全国観るナビ」を用いて検索したところ、前者では 2 つのイベントが、後者では行・祭事が 14 件、郷土芸能が 2 件ヒットした。トリップアドバイザーでヒットしたのは「おおたイルミネーション」と「世良田祇園まつり」である。おおたイルミネーションは毎年 11 月中旬から 1 月中旬に、太田市北部運動公園を中心に行われるもので、約 150 万個の LED が点灯される。間近と高台では見え方が異なるため、様々な楽しみ方ができるという⁴³。世良田祇園まつりは、もとは世良田八坂神社の祭礼のお祭りであり、かつては関東三大祭の一つとして数えられていたという。現在では、世良田地区の全ての屋台が参加する祇園祭となっているようである⁴⁴。

Miru-navi 全国観るナビでは、行・祭事として「PC 航空ページェント」「大光院開山忌」「上州太田七福神スタンプラリー」「白蛇観音祭」「鎭矢祭」「やぶ塚かかし祭り」「花まつり 灌仏会」「徐魔神事」「御鉾始式」「世良田祇園まつり」「おおた夏まつり」「関東山野草展」「関東菊花大会」「尾島ねぶたまつり」が、郷土芸能としては「冠稲荷神社初午大祭」「木崎音頭」が挙げられている。なお「尾島ねぶたまつり」は、青森県弘前市と太田市との歴史的なつながりから 1986 年より始まった。

(6) 文化・歴史・伝統への接触機会

太田市における文化・歴史・伝統への接触機会はどのような状況だろうか。接触機会を厳密に測ることは難しいが、太田市独自に集計したいくつかの統計データからはその程度を伺い知ることができる。

まず、太田市駅前に 2017 年に開館した「美術館・図書館」の利用状況についてである。この施設は、駅前の賑わい創出のための文化交流施設として、また文化芸術を多方面から紹介するとともに、様々な形での市民参画と協働を展開する複合施設（美術館と図書館）として誕生した⁴⁵。同館の建設にあたっては、駅を利用す

43 トリップアドバイザー「おおたイルミネーション」

(https://www.tripadvisor.jp/Attraction_Review-g1021168-d10019559-Reviews-Ota_Illumination-Ota_Gunma_Prefecture_Kanto.html)

(2021 年 9 月 22 日閲覧)を参照。

44 八坂神社 HP (<https://www.yasaka-jinja.jp/>) (2021 年 11 月 5 日閲覧)を参照。

45 太田市による「太田市美術館・図書館」関連資料 (2021 年版)、また同館 HP「施設概要」

(<https://www.artmuseumlibraryota.jp/facilities/>) (2022 年 1 月 8 日閲覧)を参照。また同館建設の背景となる北口駅前およびその周へんに関する課題等については太田市 (2014)「(仮称) 太田駅北口駅前文化交流施設整備基本方針」などを参照。

る通勤・通学者を含む一般の太田市民のほか、図書館専門家、美術アドバイザー、建築家、構造・環境エンジニア、大学、市関係者らが一同

に会すワークショップなども開催されたようである⁴⁶。



太田市美術館・図書館 出典：太田市美術館・図書館HP。

表 4 太田市美術館・図書館利用状況

年度	来館者数	各年度末現在 展覧会	
		回数	観覧者数
29	303,468	4	22,173
30	298,911	5	29,598
31	262,273	4	13,350

(美術館・図書館)

出典：『統計おおた』（令和2年版）77頁。

表 4 は同施設の来館者数と展覧会に関するデータである。当初の年間来館者目標は 10 万人を想定していたようだが、開館初年度よりその 3 倍の 30 万人以上が利用しており、かつ 2018 年（平成 30 年）度、2019 年（平成 31 年）度においても 25 万人以上の来館者があることからすると、当初の目標は実現できていると思われる。

太田市はまた、各文化施設等の利用状況も調査している。『統計おおた』（令和 2 年度版）によると、市内にある 8 施設における近年の利用状況は表 5 の通りである。

太田では資料館や美術館の入館状況についても統計を取っている。それぞれの入館状況は表 6 の通りである。

46 同上。

表5 各施設の利用状況

年度	28		29		30		31	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
学習文化センター	913	67,049	734	62,793	614	53,518	551	44,809
社会教育総合センター	4,310	89,968	4,373	96,978	3,718	58,843	4,264	70,441
浜町勤労会館	2,431	35,171	2,485	34,537	2,573	35,198	2,384	31,140
新田勤労会館	559	4,851	335	3,382	510	5,003	431	4,782
駅なか文化館	1,131	21,043	988	17,906	944	19,149	842	18,847
新田文化会館 (エアリスホール)	1,602	123,344	1,211	110,224	1,163	103,098	898	87,822
藪塚本町文化ホール	622	40,240	457	35,122	416	34,708	401	30,362
太田市民会館	-	-	726	75,501	1,180	141,496	1,132	152,339

※太田市民会館は平成29年4月1日開館

(各施設)

出典：『統計おおた』（令和2年版）77頁。

表6 資料館・美術館入館状況

年度	(単位:人)				
	27	28	29	30	31
新田荘歴史資料館	10,533	10,845	11,507	8,409	11,229
縁切寺満徳寺資料館	11,557	12,019	11,133	11,873	10,484
高山彦九郎記念館	3,924	3,904	3,587	3,151	3,179
藪塚本町歴史民俗資料館	3,031	2,866	2,817	2,810	2,535
史跡金山城跡ガイドンス施設	25,488	29,011	31,196	32,362	30,690
大隅俊平美術館	6,595	6,034	6,244	4,683	4,169
中島知久平邸地域交流センター	11,992	14,764	13,308	9,149	9,493

出典：『統計おおた 令和2年版』78頁。

(歴史施設課、文化財課)

(7) 宿泊施設客室数

太田市内のホテルの総客室数を「じゃらんnet」を使って計算したところ 1,043 室（2021 年 11 月現在）あることがわかった。同サイトにて太田市の「ハイクラス」宿泊施設を調べたところ、該当施設はなかった。

(8) 観光案内所・病院の多言語対応

日本政府観光局の「JNTO 認定外国人観光案内所」で調べると、太田市においては多言語対応の観光案内所は 0 件であった。しかし「パートナー施設」に該当するものとして「道の駅おおた」があった。パートナー施設とは「観光案内を専業としない施設」であるが、「外国人旅

行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供」する施設である⁴⁷。

多言語対応が可能な病院は4院ある⁴⁸。それぞれの病院と科によって対応可能な言語が異なる。その内容については次の通りである。ENは英語、ESはスペイン語、PTはポルトガル語、ZHは中国語、Otherはその他である。

<SUBARU健康保険組合太田記念病院>

内科:EN, Other、外科:EN, Other、皮膚科:EN, Other、泌尿器科:EN, Other、産科:EN, Other、婦人科:EN, Other、診療科(その他):EN, Other

<医療法人 慶仁会 城山病院>

救急科:EN、内科:EN,ES,PT、外科:EN,ES,PT、整形外科:EN,ES,PT、診療科(その他):EN,ES,PT

<群馬県立がんセンター>

内科:EN,PT,ES,ZH、外科:EN,PT,ES,ZH
※がんに限る

<医療法人 こばやし小児科内科医院

喜多村クリニック>

内科:EN、小児科:EN

(9) 休日の人の多さ

太田市の休日における滞在人口率(2019

年の休日午後2時の各月の滞在人口の平均181,122人を国勢調査人口173,059人で除した数値)は1.05となっている。休日に総人口の5%ほどの人が太田市を訪れていることがわかる⁴⁹。

(10) 行楽・観光目的の訪問の多さ

太田市を訪問する人々の中で、行楽・観光を目的とする人々は全体でどのくらいいるのだろうか。株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査2021」における「訪問経験(行楽・観光のため)」は5.0%(3.1%)である⁵⁰。これは群馬県平均7.1%(3.9%)、全国平均7.5%(4.9%)を下回る数値となっている。カッコ内は前年度の数値である。

(11) 訪日外国旅行者数(2019年)

2019年に太田市を訪れた訪日外国旅行者の月平均は5,191人であった(この数字は昼間(10-18時)の滞在者数より算出している)。図7は2019年における月別の訪問者数の推移である⁵¹。2月を除き、おおよそ4,500人以上の外国人旅行者が太田市を訪問していることがわかる。その中でも3月と4月は特に多く、3月は6,014人、4月は6,431人である。なお、本項目のタイトルはグローバルデザイン・プロジェクト全体での比較検討の観点から「訪日外

47 日本政府観光局「JNTO 認定外国人観光案内所」一覧および認定区分(カテゴリー)について、を参照。

48 日本政府観光局「日本を安心して旅していただくために 具合が悪くなったとき」

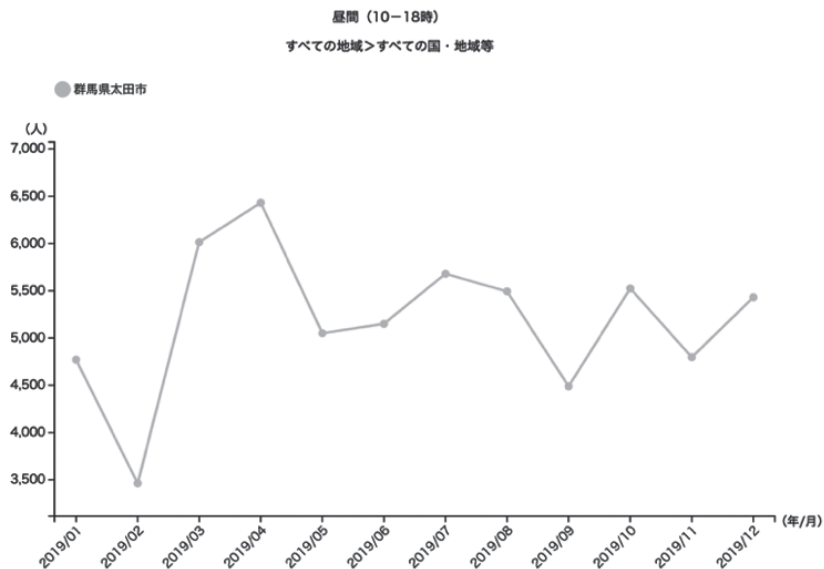
(https://www.jnto.go.jp/emergency/jpn/mi_guide.html) (2021年9月22日閲覧)を参照。

49 RESAS まちづくりマップ「滞在人口率」(群馬県太田市)を参照。

50 株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査2021」における「訪問経験(行楽・観光のため)」の値(%)。

51 RESAS 観光マップ「外国人滞在分析」(群馬県太田市)を参照。

図 7 訪日外国旅行者の推移（2019 年）



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析」（群馬県太田市）。

国旅行者数」としたが、太田市を訪れている外国人の目的等についてはさらなる調査が必要であることをここに記しておきたい。

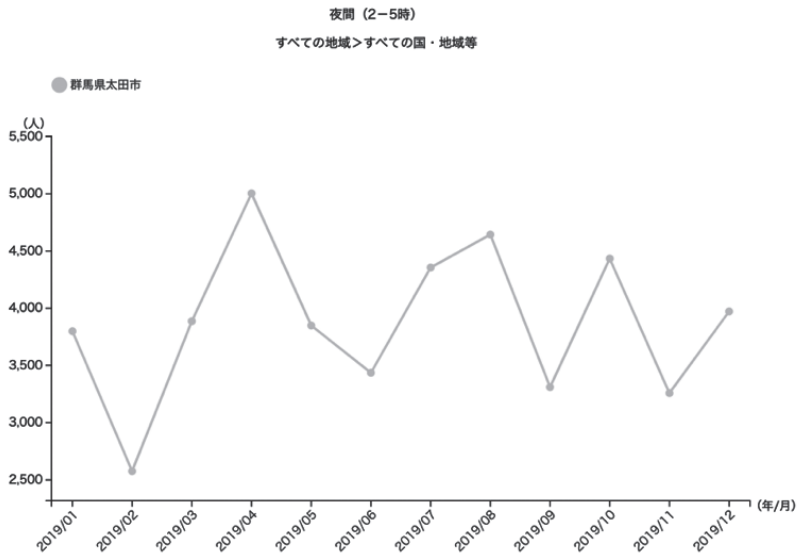
（12）訪日外国旅行者宿泊数

宿泊者数（夜間（2-5 時）の滞在者数）の月平均は 3,877 人であった⁵²。昼間の滞在者数と同じように、2 月の宿泊者数は少ないが、それ以外の月では 3 千人以上の宿泊者がいることがわかる。もっとも多いのは 4 月の 5,004 人である⁵³。

52 RESAS 観光マップ「外国人滞在分析」（群馬県太田市）を参照。

53 前項（11）訪日外国旅行者数（2019 年）と同じように、本項（12）でもタイトルは「訪日外国旅行者宿泊数」としたが、ここでも太田市を訪れている外国人の目的等についてはさらなる調査が必要であることを記しておきたい。

図 8 訪日外国旅行者宿泊数の推移（2019 年）



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析」（群馬県太田市）。

（13）国際会議開催件数

国際会議開催件数（2010-2019 年）は 0 件であった⁵⁴。

（14）観光客誘致活動

日本政府観光庁「観光地域づくり法人（DMO）」の登録機関は該当なしであった。

（15）自治体 SNS フォロワー数

2021 年 9 月調査時における太田市の SNS フォロワー数は、Facebook（太田市観光交流課）382 人、Twitter（太田市広報課）10,230 人、YouTube（群馬県太田市）553 人、Instagram（太田市観光交流課）1,996 人であった。

（16）魅力度・認知度・観光意欲度

「地域ブランド調査 2021」⁵⁵によると、太田市は魅力度・認知度・観光意欲度の合計は 39.5 点であった。魅力度は 4.8 点（3.8 点）で全国順位では 673 位（742 位）、認知度は 24.4 点（22.2 点）で全国順位では 444 位（458 位）、観光意欲度は 14.7 点（13.5 点）で全国順位では 832 位（724 位）であった。カッコ内は前年度の数値である。

（17）日本人大学生の海外留学・海外派遣数

太田市には、群馬大学の理工学部・大学院理工学府（太田キャンパス）と関東学園大学があるが、この項目については本稿を執筆している段階（2022 年 1 月）で十分な調査が出来てい

54 日本政府観光局「2019 年国際会議統計 資料編 1 国内都市別 国際会議開催件数一覧表」を参照。

55 「地域ブランド調査 2021」（前掲）における「魅力度」、「認知度」、「観光意欲度」の 3 つの点数を合算した値。

ない。なお、両大学の海外留学・海外派遣数がわかったとしても、その中の何名が太田市在住であるかを特定するのは難しいと思われる。

(18) 姉妹都市提携数

太田市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州のバーバンク市（1984～）、同インディアナ州のグレイターラフィエット（ラフィエット市、西ラフィエット市、ティピカヌー郡）（1993～）、さらに中華人民共和国遼寧省營口市（1987～）の3都市間で国際姉妹・友好都市連携を結んでいる。なお国内では、愛媛県今治市（姉妹都市）と青森県弘前市（友好都市）と提携している。

太田市の国際的な姉妹都市提携の動きは1982年1月、市民団体等の代表32名からなる「太田市国際姉妹都市提携研究協議会」が設置されたことから本格的に始動する。太田市によると、同協議会は国際親善都市連盟に仲介を依頼したり、米国姉妹都市協会へ候補都市の事前意向打診を行ったり、南カリフォルニア群馬県人会へも同様の打診などを行う他、外務省や群馬県にも協力を依頼しながら、姉妹都市提携の可能性を模索した⁵⁶。バーバンク市へは1983年に姉妹提携の申し込みを行い、1984

年に姉妹都市提携調印式が行われた。

グレイターラフィエットとの姉妹都市提携は、富士重工業といすゞ自動車との合併会社「SIA」（スバル・いすゞオートモーティブ）が米国インディアナ州ラフィエット市に進出したことから始まる。その後、ラフィエット市長らによる富士重工訪問、太田市表敬訪問を経て、1993年、両市は姉妹都市となった⁵⁷。

營口市との友好都市提携への動きは、1984年の營口市代表团（三洋電機との企業合作のために来日中）からの友好都市提携の申し出から始まる。これは三洋電機会長の紹介によってなされたものだった。その後、3年間の交流を行い、1987年から両市は友好都市となった⁵⁸。

(19) 姉妹都市への青少年海外派遣事業を通じた派遣数

太田市では、国際姉妹都市提携関係にあるバーバンク市とグレイターラフィエット（ラフィエット市、西ラフィエット市、ティピカヌー郡）の間で積極的な青少年海外交流を行っている。2016年から2019年までの派遣者数は、全体で計46名（バーバンク市へは22名、グレイターラフィエットへは24名）となっている。バーバンク市とグレイターラフィエットか

56 太田市 HP「アメリカ合衆国カリフォルニア州バーバンク市」
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/kokusaikouryu/ba-bank.html>)
(2021年9月22日閲覧)を参照。

57 太田市 HP「アメリカ合衆国インディアナ州グレイターラフィエット」
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/kokusaikouryu/rafiet.html>)
(2021年9月22日閲覧)を参照。

58 太田市 HP「中華人民共和国遼寧省營口市」
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/kokusaikouryu/eiko.html>)
(2021年9月22日閲覧)を参照。

らはまた学生の受入も行っており、同じ 2016 年から 2019 年までの間に計 42 名（バーバンク市からは 23 名、グレイターラフィエット 19 名）を受け入れている。

バーバンク市とグレイターラフィエットとは学生受入・派遣事業を交互に行っている。まずバーバンク市とは、2016 年と 2018 年がバーバンク市からの学生受入年に該当し、それぞれ 11 名（引率者 2 名を加えると計 13 名）、12 名（引率者 2 名を加えると計 14 名）の学生を受け入れている。一方、2017 年と 2019 年には太田市からバーバンク市へと学生を派遣しており、その数は 2017 年が 10 名（中学生 6 名、高校生 4 名の他、引率者 2 名を加えると計 12 名）、2019 年が 12 名（中学生 7 名、高校生 5 名の他、引率者 2 名を加えると計 14 名）となっている⁵⁹。

グレイターラフィエットとは、2016 年と 2018 年が太田市からの派遣年となっており、2016 年には 12 名（中学生 6 名、高校生 6 名の他、引率者 2 名を加えると計 14 名）、2018 年には 12 名（中学生 7 名、高校生 5 名の他、引率者 2 名を加えると計 14 名）が派遣されている。一方、太田市は 2017 年には学生 4 名（引率者 1 名を加えると計 5 名）を、2019 年には学生 15 名（引率者 2 名を加えると計 17 名）を受け入れている⁶⁰。

友好都市である営口市とは、交流が活発に行われていた時期では、同市からの代表団を受入れ、友好交流を活発にするとともに、情報交換や経済交流をはじめとする交流事業を行っていた⁶¹。

（20）高等学校による海外派遣事業を通じた派遣数

太田市には計 9 校の高等学校が所在する。県立太田高等学校、県立太田女子高等学校、県立太田フレックス高等学校（定時制・通信制）、県立太田工業高等学校、県立太田東高等学校、県立新田暁高等学校、市立太田高等学校、常磐高等学校、ぐんま国際アカデミー高等部である。

県立太田高等学校では、米国 NASA 関連施設等への派遣事業（アメリカ NASA 研修）を行っており、研究者らとの直接交流を行うほか、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学の学生との交流も行っている⁶²。期間は約 1 週間である。参加者数は例年 30 名ほどが参加している（2012 年度 30 名、2013 年度 32 名、2014 年度 30 名、2015 年度 31 名、2016 年度 30 名、2017 年度 30 名、2018 年度 30 名）。2019 年度と 2020 年度は中止となっている⁶³。

県立太田女子高等学校では、2016 年以降、アメリカ研修を行っており、ハーバード大学や国連本部などを訪問している。期間は約 10 日間である。2016 年度は 40 名が参加

59 太田市 HP の各年度の「バーバンク市交換学生受入事業報告」及び「バーバンク市交換学生派遣事業報告」を参照。

60 太田市 HP の各年度の「グレイターラフィエット学生受入事業報告」及び「グレイターラフィエット交換学生派遣事業報告」を参照。

61 前出、太田市 HP 「中華人民共和国遼寧省営口市」を参照。

62 県立太田高等学校 HP 「NASA 研修」(<https://ota-hs.gsn.ed.jp/gyouji>) (2021 年 11 月 13 日閲覧) を参照。

63 以上については 2021 年 11 月 17 日、太田市企画政策課を訪問した際に頂いた参考資料を参照。

している。その後の参加人数は2017年度20名、2018年度20名、2019年度20名である⁶⁴。2020年度はコロナ禍のため研修の代替事業（エンパワーメントプログラム）を行った⁶⁵。

県立太田フレックス高等学校、県立太田工業高等学校では特に実施していない。

県立太田東高等学校ではニュージーランドへの語学研修を行っている。派遣者数は、2015年度10名、2016年度8名、2017年度8名、2018年度13名、2019年度10名となっている⁶⁶。2020年度は中止であった。

県立新田暁高等学校では、2000年から2003年までオーストラリア語学研修を実施し、2008年からはニュージーランドへの語学研修を実施している。期間は約10日間である。各年度の参加者は、2008年度9名、2009年度7名、2010年度19名、2011年度13名、2012年度12名、2013年度4名、2014年度11名、2015年0名、2016年度5名、2017年度4名、2018年度16名、となっている⁶⁷。

市立太田高等学校は2016年度よりアメリカ研修を行っている。同研修の期間は約10日間

であり、毎年3月に行われている。アメリカではハーバード大学やマサチューセッツ工科大学、パデュー大学などを訪問したり、姉妹都市であるインディアナ州ラフィエットでは地元企業の海外法人を訪問したりする⁶⁸。各年度の参加者数は、2016年度17名、2017年度16名、2018年度17名であり、2019年度と2020年度は中止となった⁶⁹。

常磐高等学校は国際理解教育の一環としてオーストラリアとカナダへの語学研修を行っている。オーストラリアへは、1996年度25名、1999年度13名、2001年度8名、2004年度5名が参加しており、カナダへは2017年度5名、2018年度2名が参加している⁷⁰。

ぐんま国際アカデミーは国際バカロレアの認定を受けた小中高一貫教育校である。10年生（高校1年生に該当）時は、北米研修を行っており、アメリカのトップレベル高校（サンディエゴ ヒルトップハイスクール）の授業に参加したり、ホームステイなどを行ったりしている。毎年60名程度が参加しているようだが、今後は70～80名に増やしていく予定である⁷¹。

64 同上。

65 県立太田女子高等学校 HP「アメリカ研修」(<https://tajyo-hs.gsn.ed.jp>) (2021年11月13日閲覧) を参照。

66 前出、2021年11月17日、太田市企画政策課を訪問した際に頂いた参考資料を参照。

67 同上及び県立新田暁高等学校 HP「国際交流」(<https://www.akatsuki.ed.jp/akatsuki-h/index.html>) (2021年11月13日アクセス) を参照。

68 市立太田高等学校 HP「グローバル」「アメリカ研修」(<https://www.otacity-hs.com/oversea>) (2021年11月13日閲覧) を参照。

69 前出、2021年11月17日、太田市企画政策課を訪問した際に頂いた参考資料を参照。

70 同上及び常磐高等学校 HP「修学旅行」「本学の教育と進路指導」(<https://www.tkw.ac.jp/>) (2021年11月13日閲覧) を参照。

71 同上及びぐんま国際アカデミー HP「中高等部」「北米研修」(<https://www.gka.ed.jp/>) (2021年11月13日閲覧) を参照。

(21) その他の枠組みによる青少年の海外派遣数

太田市は国際姉妹都市・友好都市提携は結んでいないものの、中国上海市嘉定区への「嘉定国際青少年友誼キャンプ」に学生を派遣している。2018年には2名（中学生1名、高校生1名の他、引率者1名を加えると計3名）が、2019年には2名（高校生2名の他、引率者1名を加えると計3名）が派遣されている⁷²。なお、2019年4月15日には同市との間で「青少年交流宣言」がなされた。同宣言では、両者が「青少年の輝く未来に向けて、文化・スポーツ・教育など幅広い分野での交流を積極的に推奨し、相互理解の促進を図る」ことを目的とし、文化・スポーツ・教育交流を推進することが謳われている。

5. 生活・居住

(1) 外国人住民の受入れ体制

既に見た通り、太田市の外国人住民比率は5.5%（2020年）と高いが、同市の外国人住民の受入れ体制はどのような状況にあるのだろうか。

まず注目すべきは、第二次太田市総合計画（平成29年度～令和6年度）における多文化共生の指針である。同計画によると、その基本的方

向としては「外国人市民窓口による行政相談、行政情報の多言語化等の一層の充実」「地域における多文化共生を推進することにより『文化の多様性』を取り込むことで活力あるまちづくりの推進」を図っている。また、これを実現するための主な事業内容として、①行政情報の多言語化及び外国人市民相談窓口の充実、②地域における多文化共生の推進、③文化の多様性を活かしたまちづくり、を行なっている⁷³。

本稿では、太田市の取り組みをさらに〈生活全般〉〈教育〉〈医療〉〈防災〉〈啓発〉の5つの分野から整理する^{74, 75}。

〈生活全般〉太田市では、1992年から行政情報の翻訳を開始し、現在では多言語による情報提供を行なっている。提供される情報には、一般的な行政情報のほか、ゴミの出し方、健康カレンダー、医療マップ、予防接種に関する情報、太田市民のための防災マニュアルなどがある。広報誌である『広報おたダイジェスト版』は4言語（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語）に訳されている。太田市HP上では4言語の他、やさしい日本語でも情報発信されている。

72 太田市HPの各年度の「事業概要（Jiading International Youth Friendship Camp）」を参照。

73 太田市（2017）『第2次太田市総合計画（平成29年度～令和6年度）』124-125頁を参照。

74 分野設定のあり方や調査項目については、日本国際交流センターによる『多文化共生と外国人受け入れについてのアンケート調査2017』と日経リサーチによる調査結果（「外国人共生、支援に遅れ 主要市区に専門窓口なし6割」に調査結果掲載）を参考とした。

75 調査は主に太田市の関連資料（例えば、太田市企画部国際課・太田市国際交流協会作成の「多文化共生推進に向けた取り組み概要」（2021.4）と、2021年11月17日と12月7日に行なった関係課へのヒアリングを中心に行なった。



毎月発行されている翻訳版行政情報誌
(左からポルトガル語、スペイン語、英語、中国語版)
出典：筆者撮影。

外国人が生活上の様々な事柄について相談できる窓口も 1992 年に始まり、2019 年からは「外国人市民相談窓口ワンストップセンター」と名称が変更され、現在に至っている。外国人住民向けの就労支援・労務相談については、ハローワークと協働しながら実施している。

〈教育〉外国にルーツを持つ子どもの就学・教育支援という点では、外国人児童生徒が学校への適応を図るために必要な指導援助を行う「プレクラス」や、国際教室担当・バイリンガル教員・日本語指導助手を配置しての「外国人児童生徒へのサポート体制」の充実を図っている。外国人住民に対しては、2つの市民ボランティア団体（太田日本語教室あゆみの会、虹の会）が太田市と協働関係のもと日本語教室を実施している他、日本文化紹介事業なども行なっている。

〈医療〉多言語対応の医療機関に関する情報提供を行なっている。例えば、先述の翻訳版行政情報誌には、日祝時に対応可能な病院リストなども掲載されている。現在ではまた、新型コ

ロナウィルスのワクチン接種可能機関などについての情報も掲載されている。医療機関での多言語対応や健康診断・相談等は市独自では行なっていないが、県からの紹介などを通してボランティア案内や健康診断等の案内を行なっている。

〈防災〉多言語での災害情報提供を行なっている。しかし緊急時の情報発信については基本的な情報をラジオなどで提供しているものの、課題であると言える。緊急時における所在の把握などについてはそもそも住所などが公開されているわけでもないので、極めて難しい。多言語での防災訓練については、新型コロナウイルスの感染が拡大する以前は、県との協力のもと行なっていた。災害時言語ボランティアが現在は約 50 名いる。

〈啓発〉外国人住民を対象とした様々な地域活動を行なっている（例えば、ボランティア活動の促進や、コミュニティ団体の支援、市内の自然・環境などを生かしたイベント開催など）。また日本人住民に対しても太田国際ふれあい

パーティーを開催したり、市民向けの語学講座を開催したりするなど、異文化理解、多文化共生教育に関する様々な活動も行なっている。市ではまた、日本語ボランティア講師の育成や災害時の言語ボランティア登録及び養成講座など、人材育成の分野でも活動を行なっている。

(2) 外国人の住民投票権

今のところ、外国人の住民投票に関する条例を求める動きは筆者の知る限り特にない(2022年1月現在)。

(3) 小売事業所密度

人々の暮らしやすさを示す指標にはさまざまなものが考えられるが、そのうちの一つに小売事業所の密度が挙げられよう。小売事業所とは、主に個人や家庭用消費者、あるいは製造業者などのために、商品を少量、少額にて販売する事業所である。ここにはガソリンスタンドや菓子店、パン屋、弁当屋、豆腐屋、調剤薬局なども含まれる⁷⁶。

太田市においては以上のような小売事業所が全体で1,622箇所あり、その内訳は各種商品小売業が8箇所、織物・衣服・身の回り品小売業が217箇所、飲食料品小売業が417箇所、機械器具小売業が318箇所、その他の小売業が567箇所、無店舗小売業が95箇所であった⁷⁷。

小売事業所総数を人口で除した人口1万人

当たりの事業所数は72.7である。

(4) 飲食店舗密度

太田市の飲食店舗数を見ると、飲食店は1,010店舗あり、持ち帰り・配達飲食サービス業の事業所は71店舗であった⁷⁸。人口1万人当たりの飲食店舗数は45.2である。

(5) コンビニ密度

太田市のコンビニエンスストアの店舗数は、「iタウンページ」にて「コンビニエンスストア 太田市」と検索すると97店舗あることがわかった。人口1万人当たりのコンビニエンスストア店舗数は4.3である。

6. 交通・アクセス

(1) 公共交通の利便性

群馬県の交通事情を示す言葉として、よく「マイカー社会」などの表現が用いられることがあるが、太田市もその傾向は当てはまる。『統計おおた（令和2年度版）』によると、2019年の太田市の自動車保有台数は119,436台で、軽自動車保有台数は91,076台である。自動車と軽自動車を合わせた数を2019年の市人口224,415で除した人口1人当たりの車台数は0.94と高い。

市内には、主に高齢者や身体障害者手帳保持者などの交通手段として、さらには通勤・通学に必要な手段として、市内バス（シティーライ

76 経済産業省関連HPなどを参照。

77 平成26年経済センサス基礎調査結果を参照。

78 平成26年経済センサス基礎調査結果を参照。

ナーおおた）が3路線（尾島線、新田線、市内循環線）運行している。それぞれの便数は、2019年度で尾島線1,200、新田線2,280、市内循環線1,680である⁷⁹。太田市は2018年から市営の無料バスも運用している。路線は西バス系統と東バス系統があり、2019年の便数はそれぞれ11,293、8,664である。

市内在住で歩行以外の移動手段や運転免許証を持たない70歳以上の高齢者と70歳未満で身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の保有者は「おうかがい市バス」が利用できる。このバスは自宅から目的地まで行くことのできる乗合バスであり、区内は片道200円、区外は片道300円で利用できる。

太田市には民営バス会社もある。朝日自動車株式会社のバスは太田駅・熊谷駅間を、株式会社矢島タクシーのバスは太田駅南口・イオンモール太田間、太田駅南口・熊谷駅南口間をつなぐ。鉄道では東武鉄道があり、太田市内には9つの駅（太田、細谷、木崎、世良田、菰川、三枚橋、治良門橋、藪塚、竜舞）がある⁸⁰。

(2) 空港アクセス時間の短さ

Googleマップで調べたところ⁸¹、羽田空港・太田市役所間では、車では1時間56分、電車等では2時間3分～15分かかることがわかった。一方、成田空港・太田市役所間では、車では2時間5分、電車等では3時間3分かかる

ことがわかった。

(3) 新幹線の利用しやすさ

都内から太田市に来る場合、各種路線情報サービスで検索すると、新幹線の利用はあまり推奨されていないように思われる。例えば、東京駅・太田駅間を「駅探」で調べると、新幹線利用の有無で移動時間に大きな違いはなく、新幹線を利用した場合の乗り換え回数は在来線利用時より1、2回多い⁸²。

(4) インターチェンジ数

インターチェンジ数は太田市内に3箇所ある。いずれも北関東自動車道であり「太田桐生IC」「太田藪塚IC」「太田強戸スマートIC」である。2019年のそれぞれの入車・出車台数は、太田桐生ICが3,159,667台、3,182,749台であり、太田藪塚ICが1,672,511台、1,677,511台であり、太田強戸スマートICは302,700台、328,928台である⁸³。

(5) 通勤時間の短さ

太田市における平均的な通勤時間は22.1分であった。これは総務省による調査結果に基づくものであり、「家計を主に支えるもの」の通勤時間の中位数である。群馬県全体の中位数は23.2分であり、太田市とほぼ同じである。全国（28.1分）と比較すると、太田市の通勤時

79 『統計おおた』（令和2年度版）68頁を参照。

80 『統計おおた』（令和2年度版）「東武鉄道各駅乗降人員状況」67頁を参照。

81 Google Map ルート検索による。

82 「駅探」（<https://ekitan.com/>）の検索による。

83 『統計おおた』（令和2年度版）「北関東自動車道利用状況」67頁を参照。

間はやや短いことがわかる⁸⁴。

7. その他(スポーツを通したまちづくりの可能性)

以上の1から6の項目はグローバルデザイン・プロジェクトの共通事項であるが、太田市へのヒアリングを通して、これら6項目には必ずしも収まらないいくつかの有用なアイデアや情報を得ることが出来た。その中の一つに、市内におけるスポーツ振興がある。

太田市ではかねてより、学校主体の部活動の充実やスポーツ振興の難しさ(主に少子高齢化などに関する問題のため)を解決するため、公営で行うスポーツ活動の重要性を認識してきた。そこで太田市では、2000年6月「おおたスポーツ学校」を設立し(2009年以降は「おおたスポーツアカデミー」)、ジュニアスポーツの強化育成支援を中核に、地域スポーツの普及啓蒙と健康づくりの推進を行ってきた。開講されている競技は、陸上、野球、サッカー、水泳の他、ゴルフ、レスリング、フェンシングなどもある⁸⁵。近年では同アカデミー出身のプロ選手が創出されるなど、盛り上がりを見せている。

以上のような背景を踏まえながら、太田市では近年、さらなるスポーツ振興と地域づくりを念頭にした地域再生計画「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」(計画期間:2020年4月1日～2025年3月31日)を実施している⁸⁶。本計画の目玉の一つはア

リーナの建設である(名称はOTA ARENAで2023年完成の予定)。同施設は、プロスポーツを恒常的に実施するための場となるだけでなく、地域づくりの拠点となること、さらには災害時における避難拠点となることなどが期待されている。

太田市のスポーツ振興にとって、群馬クレインサンダースがそのホームタウンを前橋市から太田市に移転したことの意味は大きい(2021-22シーズンより)。群馬クレインサンダースは2021年5月、バスケットボール2部(B2)優勝と1部(B1)昇格を実現したばかりである。OTA ARENAの完成と群馬クレインサンダースの活躍は、太田市におけるスポーツを通した地域づくり、人材育成に寄与するだけでなく、地域経済にとっても大きな効果をもたらすものと考えられる。

【謝辞】

本稿を執筆するにあたり、太田市役所企画政策課の皆様、交流推進課の皆様、また太田市教育委員会の皆様には、貴重なご指摘やご助言を頂きました。誠にありがとうございました。ここに記してお礼を申し上げます。本稿の内容に誤りや足りない部分などがあるとすれば、それは筆者本人の責任です。

84 総務省「平成30年住宅・土地統計調査」における家計を主に支えるものの通勤時間の中央値。

85 詳細については、おおたスポーツアカデミー HP (<https://www.ota-sports-academy.com/>) (2021年12月10日閲覧)を参照。

86 詳細については、太田市 HP「太田市人口ビジョン・総合戦略」(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-001kikaku-kikaku/2015-1210-0943-3.html>) (2022年1月10日閲覧)とその関連資料を参照。

Ota's Glocal Profiling

Takashi Nishitate, Associate Professor
Kyoai Gakuen University

Abstract

This article delineates the current situation of Ota City, Gunma Prefecture, from the Glocal Design perspective, focusing on six main areas: economy and business, research and development, culture and exchange, living and residence, and transportation and access. The city is located in the southeastern part of Gunma Prefecture, with an area of 175.54 km² and a population of 223,150 in 2020. The city's primary industry is manufacturing, of which the manufacture of transportation machinery, including automobiles and its accessories, accounts for a large percentage. Ota is also hometown to many foreign residents, 12,228 as of December 2020, or 5.5% of the city's total population. To enable foreign residents to live comfortably and safely, the city government has been implementing various multicultural policies since 1992, including translating administrative information, Japanese language education, medical care, and disaster prevention for foreigners. The manufacturing industry and the abundance of foreign residents are not the only characteristics of Ota. It is now developing a civic-centered city government in which citizens are involved explicitly in community planning. There is also a growing momentum to nurture young people, especially in the fields of arts, sports, and international understanding.